

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

ブランドは百年企業として最大の資産 津賀 一宏 (パナソニック社長)

1. もともとパナソニックは、松下電気器具製作所からスタートして、その後、松下電機産業になって、戦後、松下電工や三洋電機が分かれて、その後一緒になって、今がある。そういう百年企業です。我々は非常に幅広い分野で奥深い専門性を持った技術、ものづくりをベースにお客様と向き合ってきた。そうした一つひとつの事業がパナソニックというブランドを表している。この総合力というのは、世の中探してもそう簡単には見当たらないでしょう。これが我々の強みだと思っています。
2. 松下幸之助さんが創業された時期は会社には優秀な人材がそんなに多くなかった。結果として外部人材によって回してきた会社です。会社が大きくなって有名になって一流大学から多くの人が採れるようになって、人事が純血主義に変わりました。
3. パナソニックに求められるものが変わるなかで、創業時代の形に戻ったのです。引き算、掛け算するために外部の人材を求め始めたわけです。ブランドは百年企業として最大の資産です。

(「日経ビジネス」2020年1月17日号)

幹経営者のための理念・哲学

広い心で自分を自覚する

千 玄室 (茶道裏千家前家元)

1. 人間は生きている限り誰もが迷います。政治や経済のリーダーの皆さんは、羊飼いが羊を目的地まで連れて行くように、国民が迷わずに進んでいけるように導いていただきたいと願うばかりですが、生きていく上で迷わないためには、一人ひとりが自覚を持つことが大事だと思います。自分は何のために生きていくのか、どう生きなくてはいけないかという自覚です。
2. 同時に、私たちは誰もが共同体の一員なわけですから、相手に対してもっと思いやりの気持ちで接しなくてはなりません。思いやりのかたちは一人ひとり皆違うと思いますが、そういう広い心を持ってこそ、初めて自分というものへの自覚が深まる。前だけを見て生きていくこと、それだけでは視野は狭い。前を見つめると同時にワイドな視野を持つことが、自分という人間を自覚する根本ではないかと思います。

(参考:「致知」2020年4月号)

海外事情

世界経済への影響度はSARSの4倍

1. SARS流行時(2002年)と現在では、世界経済における中国の重みが異なる。世界のGDP(国内総生産)に占める中国の比率は、2003年の4.3%から2019年の16.3%へと大幅に向上。中国経済が新型肺炎で受ける打撃がSARSと同程度だった場合、世界経済に与えるマイナス影響は4倍近くに拡大すると考える必要がある。
2. 新型肺炎以前から、中国経済は力強さを失っていた。米中貿易摩擦は輸出を減速させ、株価急落と通貨安を招いた。若者の就職難や、生産年齢人口の減少も顕在化している。そして過去の大型財政出動による過剰債務問題は深刻だ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年2月15日号)

古典に学ぶ

利殖と道徳とは一致する

(解説) 商売は己れを利することを眼目とするために、自分さえ利すればそれでよい、他人の迷惑は知らぬ存ぜぬという考を持っている人がある。それゆえに利殖と道徳とは一致せぬという人もあるが、これは間違いで、そんな古い考は今の世に通用させてはならぬ。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)